

平成25年5月29日
高エネルギー加速器研究機構
日本原子力研究開発機構

J-PARC ハドロン実験施設における入域者の被ばくについて

5月23日の事故発生以降にJ-PARCハドロン実験施設管理区域に入域していた方は102名です。このうちJ-PARCハドロン実験施設における被ばくのおそれがある55名全員について一昨日までに測定・評価が終了しましたが、それと並行して残りのハドロン実験施設管理区域に当日事故発生以降に入域していた47名についても測定・評価を進めてきました。これまでに45名の測定・評価が終了しましたが、このうち1名について、被ばくが認められました。この方は行動調査においては被ばくのおそれのある55名には分類されていませんでしたが、昨日、測定の際、改めて確認を行った結果、ハドロン実験ホールの地上部ギャラリーでの滞在時間が1時間程度であり、本来測定・評価の対象であったことが判明しました。被ばく量は0.1 mSvでした。なお、測定・評価が終了していない2名の国外からの利用者についてはすでに帰国しており、本国にて測定・評価を行う予定です。詳細については別添を参照ください。

参考：被ばくのおそれがあるとして測定・評価を進めた方の基準

- ・ハドロン実験ホール地下部フロアに滞在していたもの。
- ・ハドロン実験ホール地上部ギャラリーに長時間滞在していたもの。
- ・検査対象者選別時に本人の所在が不明で行動の調査が完了しなかったもの。

<問い合わせ先>

J-PARCセンター
広報セクション
坂元 眞一
TEL：029-284-3587
FAX：029-282-5996

高エネルギー加速器研究機構
東海管理課
池田 崇
TEL：029-284-4851
FAX：029-284-4854

日本原子力研究開発機構
東海研究開発センター
管理部 青木 寧
TEL：029-282-5001
FAX：029-282-6111

WBC受診状況

身分	人数	受検済	非検出	検出	実効線量(mSv)	
					最小 (非検出は除く)	最大
KEK職員	25	25	14	11	0.1	1.0
JAEA職員・研究員	7	7	6	1		1.7
大学職員・研究員	3	3	1	2	0.1	1.5
その他研究機関職員・研究員	4	4	1	3	0.1	0.9
大学院生	23	23	12	11	0.1	1.7
外国人	16	14(*)	10	4	0.1	1.0
業者	24	24	22	2	0.1	0.4
合計	102	100	66	34		

備考:外国人はすべて外国人の身分とした。

(*) 二名帰国し、本国で測定予定